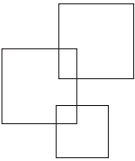


3月定例会では、2月26日に5人の議員が代表総括質疑を、27日に5人の議員が総括質疑を行い、令和7年度の施政や財政方針などに関して活発な議論を展開しました。紙面の都合により、質疑と答弁の要旨を1人1問ずつ紹介します。

なお、総括質疑の様子は、太田市議会ホームページ「インターネット中継」からご覧いただけます。

また、本定例会の正式な会議録は、市立図書館や市議会ホームページ、議会事務局などでご覧いただけます。



2次元コードを読み取ると、議員それぞれの全ての質疑の様子をご覧いただけます。

代表総括質疑



令和7年度施政並びに財政方針
及び予算について
ー交流人口の獲得についてー



市民ファーストの会 大川 敬道

議員 県内における将棋の王将戦などの開催実績について伺います。

文化スポーツ部長 平成29年に前橋市の臨江閣で竜王戦、30年に富岡市の富岡製糸場で叡王戦が開催されています。

議員 将棋の公式戦の開催費用について伺います。

文化スポーツ部長 費用は非公開のため不明ですが、開催自治体では王将戦開催経費負担として、400万円から500万円を計上しています。

議員 将棋の公式戦誘致について、所見を伺います。

文化スポーツ部長 将棋は日本の伝統文化ではありますが、本市との関係は薄く、誘致の考えはありません。

議員 旧中島家住宅は公式戦の会場にふさわしいと考えますが、所見を伺います。

教育部長 旧中島家住宅は、令和18年の整備完了に向け調査工事を実施している段階であり、現状では会場とし

てはふさわしくないと考えます。

議員 深谷市では、3月に藤井七冠を迎え、王将戦が開催されました。交流人口の獲得に向けた施策として、藤井七冠を迎えての将棋公式戦開催は話題性や経済効果が期待できると考えますが、市長の所見を伺います。

市長 誘致に協力してくれる人をご紹介いただければ、お話を伺っていききたいと思います。

■その他の質問

- ・ユーランド新田について
- ・本市の公共施設の維持管理に係る財政負担について



総括質疑



令和7年度施政並びに財政方針
及び予算について
ーインクルーシブ教育についてー



立憲民主党 岩瀬 僚

議員 日本に来たばかりの外国人児童生徒を指導するプレクラスの概要について伺います。

教育部長 プレクラスでは、日本人アドバイザー1人とポルトガル語などの指導員4人の体制で、平仮名などの文字指導や日常会話指導、学校への適応指導を40日間のプログラムで実施しており、令和3年度は19人、4年度は28人、5年度は42人が通室しています。

議員 集中校に設置されている国際教室の概要について伺います。

教育部長 国際教室は、県費の担当教員が、市費のバイリンガル教員などと連携し、きめ細やかな指導を行っており、6年5月現在で28カ国の児童生徒が在籍しています。

議員 国際教室の指導体制における今後の課題について伺います。

教育部長 児童生徒の多言語化が課題となっており、今後は翻訳機を導入し、活用したいと考えます。

議員 インクルーシブ教育の推進のために、児童生徒の多言語化に対応できるよう、教員の補充・拡充に係る予算措置が必要と考えますが、市長の所見を伺います。

市長 適正な人数の教員を配置しており、多言語化には翻訳機で対応していきたいと考えます。また、地方の負担が増大していることから、国や県からの補助金の改善を含め、多様化する外国人の子どもたちに対応していく必要があると思います。

■その他の質問

- ・農福連携について



総括質疑



本市の消防行政及び災害対応について



弦音会 清水 梨花

議員 消防の資機材の見直しにより、消防活動が効率的かつ効果的になり、消防職員の負担軽減につながると考えますが、所見を伺います。

消防長 電動アシスト式のホースカーやホース巻き取り機を導入予定のほか、災害事案ごとに資機材を分けた大型コンテナを積載する車両の導入を検討しています。

議員 消火器や住宅用火災警報器の購入に補助があれば、導入する人が増えて初期消火につながると考えますが、所見を伺います。

消防長 消火器については一般家庭に設置基準がないため購入補助は難しく、住宅用火災警報器については一人暮らしの70歳以上の高齢者で希望があれば無償設置しています。

議員 多文化共生のまちである本市で外国人は消防団員不足の解決策として重要な人材で、防災意識向上につながると考えますが、所見を伺います。

消防長 外国人の消防団員は機能別

消防団員としての活躍が考えられます。総務省消防庁が作成予定の、従事できる任務を明確化する指針を踏まえ、研究したいと考えています。

議員 災害時の迅速な情報発信や自動通報装置、ペットにも無害な消火剤の購入助成など、防災対応力の強化が市民の安心安全につながると考えますが、市長の所見を伺います。

市長 さまざまなセクションで安心安全な暮らしを守るため、最善の方法を取り、日々活動していますので、消防と積極的に情報共有しながら対応していきたいと考えます。



総括質疑



太田駅南口第三・第四地区市街地
再開発事業、桐生大学誘致について



日本共産党 水野 正己

議員 太田駅南口第三地区市街地再開発事業では、再開発ビルへの桐生大学太田キャンパスの入居が予定されており、78億円の補助金が投入される予定ですが、市内には、学校法人太田アカデミーも大学を開設予定であり、少子化が進展する中にあることは、生きた補助金とはならないことが懸念されます。将来の展望について、市長へ伺います。

市長 大学が利便性の高い駅前にあることで、学生数を維持し、さらなる高みを目指していけると思います。大学は単なる箱ものではなく、将来の本市を担う人材を育てるとともに、若者が集まるまちとなり、消滅可能性都市が増える中、太田市の人口の維持にもつながると考えます。

議員 中心市街地の活性化のためには、大学の新設よりも、現に太田市に住んでいる人たちの利便性向上のために、公共交通機関の整備などを行うべきと考えますが、所見を伺い

ます。

市長 大学は栄枯盛衰があるものですが、桐生大学は健康をターゲットにする方針と聞いており、これからの時代において、簡単に衰えることはないと考えます。ぜひ、太田市民全体で応援する気持ちを持っていただければ、繁栄してくれるものと期待しています。

■その他の質問

- ・市営住宅の入居要件の拡大について
- ・介護事業所への物価高対策・処遇改善支援について

